

通常砂防事業事前評価調書

路線・河川等名	おおたにがわしせん 大谷川支川		事業名	通常砂防事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	福知山市石原 ^{いさ} 地内			
事業概	目的	大谷川支川は福知山市東部に位置し、広域避難所である遷喬小学校及び遷喬幼稚園を保全対象とする危険溪流である。また、両施設は綾部市原子力災害住民避難計画においても避難所に指定されたため、早期に砂防堰堤を整備し、安全を確保する必要がある。				
	内容	砂防堰堤：N = 1 基 事業費：3.1 億円				
	上位計画等	明日の京都 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）				
	スケジュール	着手年度：平成30年度 完成目標：平成34年度				
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	○保全対象には、避難所である遷喬小学校及び遷喬幼稚園が含まれ、土石流が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。				
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	○土石流等の土砂災害から下流に存在する人家等を保全する事業であり、投資効果は大きい。(B/C = 5.4)				
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	○砂防えん堤を効率的に配置し、施設の規模を抑制することで、地形の改変を避け、自然環境への負荷低減に努める。 ○現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで他工事を含めた総事業費のコスト縮減を図る。				
総合評価	本事業は、土砂災害からの人命保護及び地域の安全確保の観点から、新規事業着手の必要がある。					

由良川水系

大谷川支川

通常砂防事業

ふくちやまし

いさ

福知山市

石原

◎事業目的

当該箇所は京都府北部の福知山東部に位置し、流域面積 $A=0.058\text{km}^2$ からなる土石流危険渓流である。この渓流氾濫危険区域には、広域待避所である遷喬小学校のほか、遷喬幼稚園等があります。これらの施設は、土砂災害警戒区域内にあり、今後の集中豪雨等において懸念される土石流等による災害からこれら保全対象を守るため、事業を進める。

◎事業概要

◎進捗率

全体計画	H29までの実績	H30計画
H30～H34 測量設計調査、用地補償、砂防堰堤、流木捕捉工、渓流保全工、管理用道路、仮設工(工事用道路) 事業費：308百万円	事業費：0百万円	測量設計調査 事業費：25百万円

(H29年度末見込み)

全体 0.0%

工事 0.0%

用地 0.0%

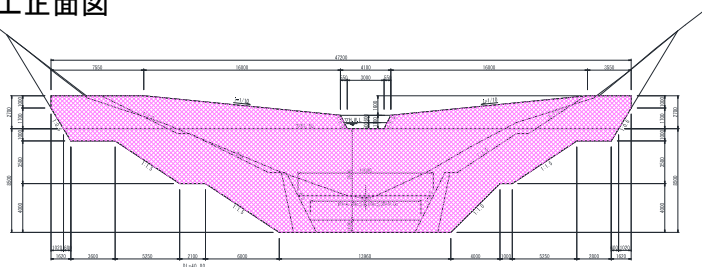
位置図



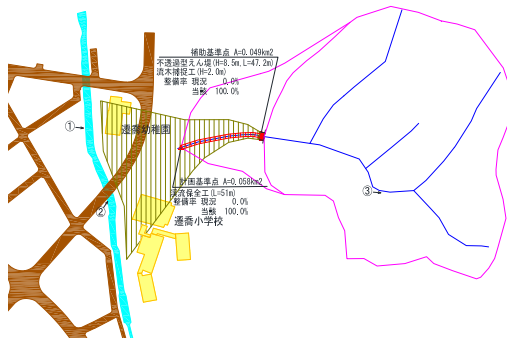
◎保全対象

遷喬小学校(広域避難所)、遷喬幼稚園

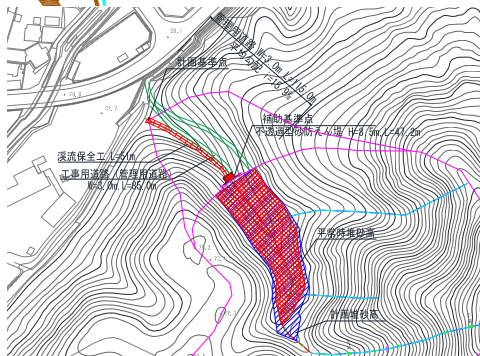
堰堤工正面図



保全対象



計画平面図



『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成30年4月20日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	大谷川支川通常砂防事業		地区名	福知山市石原 地内	
概算事業費	3.1億円		事業期間	平成30年度～平成34年度	
事業概要	砂防えん堤1基				
目指すべき環境像	<p>事業箇所周辺は住宅地となっており、景観の保全が必要であり、事業実施に当たっては、景観に与える影響を可能な限り小さくするよう配慮する。</p> <p>また、土砂災害の発生を防止する事業であり、地域住民の安心・安全を確保すると共に、動植物の生育環境と長期的な景観の保全により、地域の生活環境の保全に寄与する。</p>				
関連する公共事業	なし				
評価項目					
主要な評価の視点		選定要否	施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)		溪流が荒廃しており、溪床には不安定な土砂が堆積しているため、荒廃の進行を防止し、それに伴う溪流周辺の地形の保全を図る必要がある。	砂防えん堤工及び溪流保全工を整備することで、土砂災害の原因となる溪流の大規模な土砂移動を抑止し、現地地形の保全を図り、生態系の維持に寄与する。	
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)	○			4
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系	○			3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン		溪流下流に人家、学校等が位置しているため、工事期間中は工事車両による騒音・振動を抑制する必要がある。また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。また、建設発生材は当該工事や近傍の公共工事や民間工事と調整し、再利用に努める。	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	当該溪流周辺は人家が多数存在する地域であり、景観への配慮や地形の改変を最小限に止める必要がある。	材料の選定においては、地域の自然景観との調和を図るよう努める。えん堤の効率的な配置により、地形の改変を最小限にするよう努める。	3
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働	○			4
その他					
外部評価					